

ねんどばん
令和7年度版

がっこうせいかつ
学校生活のきまり



() 年 ^{ねん} なまえ ()

きたひろしまちょうりつ み ぶ しょうがっこう
北広島町立壬生小学校

みんなが^{あんしん}安心して^{たの}楽しく^す過ごすために

^{がっこう} ^{べんきょう}
学校は勉強を^{おとな}する^{せいかつ}ところです。

また、みなさんが大人^{おとな}になってから生活^{せいかつ}して
いくために必要な^{ひつよう}知識^{ちしき}やマナー^{まな}を^{ただ}学び、^み正
しく^み身につける^{ばしょ}場所^{ばしょ}でもあります。

みんなが^{あんしん}安心して^い生き^い生きと^{がっこうせいかつ}学校生活^{おく}が送
れるように、この冊子^{さつし}を活用^{かつよう}して、自分^{じぶん}たち
の^{こうどう}行動^{こうどう}を^{しつかり}しっかりと^{チェック}チェック^{していきましょ}していきましょ
う。

- | | |
|-------|--|
| 2～ 5 | ^{せいかつ} 生活 ^{せいかつ} について |
| 6～ 8 | ^み 身 ^み だし ^{なみ} なみ ^{について} について |
| 9～12 | ^{こうない} 校 ^{ない} 内 ^し 施 ^{せつ} 設 ^{つか} の ^{かた} 使 ^{かた} い ^方 方 ^{について} について |
| 13～15 | ^{きゅうしょく} 給 ^{しょく} 食 [・] そ ^う じ ^{について} について |
| 16～17 | ^{とあげこう} 登 ^げ 下 ^{こう} 校 ^{について} について |
| 18～19 | ^{こうがいせい} 校 ^{がい} 外 ^{せい} 生 ^{せい} 活 ^{かつ} について |
| 20 | ^{いえ} 家 ^{での} 生 ^{せい} 活 ^{かつ} について |
| 21 | ^{かんせんしょう} 感 ^{せん} 染 ^{しょう} 症 ^の 予 ^よ 防 ^{ぼう} に ^{かか} 関 ^{かか} わ ^{って} って |

■あいさつ

- ・レベル5のあいさつをところがけます。学校がっこうの中なかで出会であったお客様きやくさまにも、全員ぜんいんレベル5のあいさつをします。

- レベル1 自分じぶんから
- レベル2 相手あいての目めを見て
- レベル3 相手あいてにはっきりき聞こえる声こえで
- レベル4 止とまって
- レベル5 えがお笑顔えがおで

れい
■礼

「4拍礼ばくれい」をところがけます。

- ・1で礼れい、2・3で止とめて、4で起おこします。

- ・授業じゅぎょうでは、先生せんせいの合図あいずで、日直にっちよくが号令こうれいをかけます。

(始め) 「腰骨こしほねを立てたましょう。」「はい」

「これから〇〇の勉強べんきょうを始めはじめます。」「はい」

「礼れい」「ねがねがいします。」

(終わり) 「腰骨こしほねを立てたましょう。」「はい」

「これで〇〇の勉強べんきょうを終わおります。」

「礼れい」「ありがとうございしました」

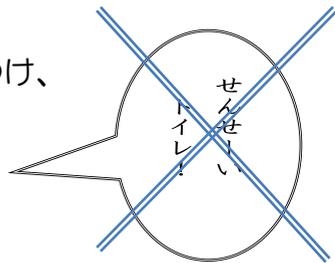


- ・「おねがいします。」「ありがとうございしました。」のあとに礼れいをします。先生せんせいの合図あいずがあるまで体からだを止とめて待まちます。

はな かた
■話し方

- ・伝える相手あいての目めを見て話はなします。

- 一文は短く、「です」「ます」をつけ、最後まではっきりと話します。
- 単語だけで伝えようとしません。



■ 聞き方

- 相手の方に体に向けて聞きます。
- うなずいたり返事をしたり反応しながら聞きます。
- ほめられたら素直に「ありがとうございます」と、お礼をいいます。

■ ことばづかい

- 目上の人（地域の方々や先生など）には、敬語で話します。
- 友だちの名前を呼び捨てにせず、「～さん」をつけて呼びます。

■ くつ箱・かさ立て

- くつは、かかから入れ、つま先をそろえます。（「出船型」にそろえます。）
- かさは、しずくを落として、しっかり巻いてからかさ立てに入れます。まっすぐに入れます。
- 玄関のかさ立てには、その日もってきたかさを入れ、夕方には必ずもち帰ります。
- 置きがさは、学年ごとの入れ物に入れて、学校に置いておきます。
- かさがない場合は、職員室で借りることができます。
- 借りたかさは次の日にかわかしてからもってきて、職員室で返します。

■職員室・教室への出入り

①入り口で立ち止まって3回ノックをします。

②とびらを開け、「失礼します」といい、礼をします。

※朝であれば「おはようございます」も忘れずに。

③学年と名前をはっきりと名乗り、用件(来た理由)を伝えます。

先生に用件がある場合には、「〇〇先生に用があってきました。」と付け加えます。

同じ用件で何人か来た場合、最後の人が代表で用件を言います。

「〇年の〇〇です。」

「◇年の◇◇です。～をしにきました。」

④用がすんだら、「失礼しました。」と言い、職員室を出ます。

・職員室のコピー機側のドアから出入りします。

■ろう下

・「遊ばず」「走らず」「右側通行」の3つの約束を守ります。

■教室を移動するとき

・授業や集会などで体育館や音楽室、グラウンドなどに
行くときには、学年ごとに2列で並んでから静かに移動し
ます。

■授業の準備

・「着ベル」を守ります。

ニチャイム(ベル)が鳴る前に席についておくこと。

・授業が終わったら、次の授業の準備をしてから休けい
します。

■持ち物

• ぶで箱の中には、

- ① けずった鉛筆5本
- ② 白い無地の四角い消しゴム
- ③ 定規 (15 c m 程度のものさし、三角定規、分度器など)
※目盛りが見やすいものをつかう。折りたたみ式は、なし
- ④ 名前ペン
- ⑤ 丸つけ用赤青えんぴつ
- ⑥ 担任の先生が持ってくるように伝えているもの

をそろえておきます。これ以外の学習に必要なものを
持ってきてません。(えんぴつキャップは、なくなったり、だれかに入れ
かわったり、みせびらかし・じまんなどからのトラブル、手わるさの道具に
なったりするので、学校に持ってきてません。)

• 自分の持ち物すべてに「名前」を書いて
おきます。

• 寝る前、朝、出かける前に忘れ物がないか
確認をします。もしも忘れた場合には、
授業が始まるまでに先生に伝えます。



• 携帯電話、スマートフォンは、学校へ持ってきてません。

※どうしても必要な場合には、お家の人が学校へ申し出て (申請書を出して)、学校が必要であると判断した場合には持ってくるすることができます。
その場合にも、携帯電話は、朝、職員室に預けて、帰りに受け取ります。

身だしなみについて

■ 基準服

- 学校には、基準服で登校します。

- 上着は紺のイートン型ジャケットで、その下に白のポロシャツ
- 紺の長ズボン、紺の半ズボン、紺のプリーツスカート
(プリーツスカートはひざくらいまでの長さのもの)



- ズボンのサイズが大きい場合には、必要に応じてベルトを使用します。(色は黒、茶色でかざりのないもの)
- ベスト、セーター、カーディガンは紺・黒・灰色のもの。
必ず基準服を着た上で着用し、ベスト、セーター、カーディガンだけの登下校はしません。ただし、校内で過ごす時に限って、上着を脱いでベスト、セーター、カーディガンだけで過ごしてもかまいません。

■ 体操服

- 体操服は学校指定の上下トレーニングウェア、半そでシャツ、短パン、赤白帽子です。



- 運動会シーズンの練習の時などに、洗い替えとして白い無地もしくはワンポイントまでのTシャツを着てもよいです。

■ 髪型・髪留め

- ・自然で清潔感のある髪型にします。色を変えたり、剃りこんだりはしません。
- ・髪の長さは、活動の妨げにならないようにします。
- ・肩にかかる場合には結ぶか、編みます。
- ・前髪は、目にかからない長さにするか、結ぶか、留めます。
- ・髪留めは、紺・黒・茶・銀色の単色で安全な形のものを使います。(飾りのあるものは、使いません。)

■ 帽子・くつ下・肌着 (インナーシャツ)

- ・登校時は、つばのある帽子を必ず着用します。過度な飾りがついているものは、やめましょう。
冬は毛糸やニット帽でも可。(ただし、耳あてだけのものはしません。)
- ・くつ下は、くるぶしがかくれる長さのものをはきます。ひざより上の長さのものは、はきません。
(色は、白・紺・黒・灰色でワンポイントまで可)
- ・スカートの下にはくタイトの色は白・黒・灰色のものに限ります。
- ・夏の薄着の時期の肌着 (インナーシャツ) は、白で無地のものにします。



■くつ・^{うわば}上履き

- くつは、あまりカラフルではなく、^{かる}軽く^{うんどう}運動しやすいものをはきます。(ハイカットやブーツタイプのものは、はきません)
- ^{あめ}雨や^{ゆき}雪の日には、^ひ状況を^{じょうきょう}考えて^{かんが}長く^{なが}くつで^{とうこう}登校します。
- ^{うわ}上ばきは、^{うら}裏が^{せい}ゴム製で、^{みぎ}すべりに^{しやしん}くく、^{うんどう}運動に^{てき}適したものをはきます。(右の写真のものがおすすめです)
- ^{うわば}上履きには、^{そとがわ}外側から^み見える^{ばしょ}場所に^{なまえ}名前を書きます。



■かばん

- 基本的にはランドセルで登校します。^{はい}入り^{ばあい}きら^{ない}ない場合はナップザックなどを使います。^{あんぜんめん}安全面の^{かんが}ことを^て考え、^{つか}できる^{つか}だけ^て手さげかばんは使いません。
- ランドセルには、キーホルダーをたくさん^{つか}付けません。(付けるのは1つまでにします。^{あんぜん}安全のお守りなどを^{まも}追加した^{つかい}ときは、ランドセルのポケットに^い入れましょう。)

■^{ぼうかん}防寒着、^{ぼうかん}防寒具

- ^{こうしゃない}校舎内では、^{ぼうかん}防寒着(ジャンパー、コートなど)や^{ぼうかん}防寒具(ネックウォーマー、手袋、ニット帽、マフラーなど)をとります。

■マスク

- マスクには^{なまえ}名前を^{きにゅう}記入し、^{たいせつ}大切に^{しやう}使用します。
- ^{たいいく}体育の^{じかん}時間など、^{はず}外したマスクを^い入れておくための、^{ぶくろ}マスク^{ようい}袋を用意します。

校内の施設の使い方について

■特別教室の使い方

おんがくしつ つうきゅうしどうきょうしつ りかしつ すこうしつ かていかしつ
(音楽室、通級指導教室、理科室、図工室、家庭科室など)

- 勝手に入りません。用事があるときは、担任の先生か職員室の先生の許可をもらって入ります。
- 先生の指示に従い、用具は大切に扱います。片づけも自分たちできちんとします。
- 物をこわしたら、すぐ先生に伝えます。
- こわしてしまったことについて反省し、校長先生に謝ります。



■図書室の使い方

- みんなが読む本です。本が汚れないよう、手を洗ってから本を手にとります。
- 本はていねいにあつかい、正しい姿勢で静かに読みます。
- 本は勝手に図書室の外へ持ち出しません。
- 本を借りたいときには、昼休けいに図書委員の人に貸し出してもらいます。たとえ読み切っていないなくても、貸出期限(1週間)を守り、いったん返します。
- 図書室には、筆記用具を持ち込みません。本に書き込みをしません。もし見つけたら、先生に伝えます。

■ トイレ、手洗い場の使い方

- トイレのスリッパは次の人が使いやすいように、「出船型」にそろえておきます。(乱れたら手でそろえます)
- 自分のはいてきたシューズは、そろえてぬぎ、トイレのスリッパにはきかえます。
- トイレをよごしたら、自分で後始末をします。
(※「おとしがみ」を使ってふき取ったり、掃除道具を使ってきれいにしたりします。)
- 後始末が終わったら、先生に見てもらいます。できそうになかったら、先生を呼んで助けてもらいます。決してそのままにしておきません。
- 水の無駄遣いをせず、水道の蛇口はしっかりしめます。また、しまっていない蛇口をみつけたら、すすんでしめておきます。
- 手洗い場で、絵の具筆や習字筆を洗うとき、床や壁をよごさないように気をつけます。床に水を散らせてしまった場合は、責任もってぞうきんでふいておきます。壁を汚した場合は、先生に伝え、掃除します。
- 手洗い場を使った後は、次の人が気持ちよく使えるように、きれいにしておきましょう。



■ 体育館の使い方

- 雨が降った時に、指定された学年が体育館で遊ぶことができます。
- 体育館遊びをするときは、必ず先生が見守りを行います。
(先生がいなときは、ボールを使って遊べません。)
- ボールを出してよいのは4つまでです。ただし、蹴ったり、わざと壁にぶついたりしません。
- 使った道具はもとの場所に片付けます。
- みんなが楽しく過ごせるように、友達や周りの人のことを考えて遊びます。
- 体育倉庫、ステージ、2階のギャラリーには入りません。



■グラウンドの使い方

- 天気が良いときに、全学年がグラウンドで遊ぶことができます。（しっかり体を動かして遊びます。）
- 雨が降っているとき、吹雪のときは、外遊びはしません。
雨が降り出したら、すぐに校舎に入ります。雨のせいでグラウンドの状態が悪いときは、汚れる遊びはしません。
- 遊具では危険な遊び方をしません。順番を守って遊びます。
- 体育倉庫、体育倉庫の裏、校舎の裏など、見えにくい場所に行ってははいけません。
- 行事等で、グラウンドが駐車場になっているときは、遊べません。車に近づくときは、十分注意しましょう。
- 学校の外に出て遊びません。
- 校舎内に入る時は、靴についた土を落とします。



給食、そうじのしかたについて

給食当番について

腹痛などの体調不良がないか、清潔に身だしなみができているかなど、チェック表に沿って確認します。体調不良の人は、給食当番はできません。

給食当番の人は、せっけんで手を洗い、消毒液で消毒を行います。うがいをし、エプロン、マスク、帽子を必ずつけます。髪の毛は帽子の中に入れます。

エプロン、マスクを着用してから食缶を取りに行きます。



給食を配る前に、台ふきんで配膳台とみんなの机を、ふきます。

食器を正しく置きます。(ごはん:左側、汁物:右側)

トイレに行く時はエプロンを脱いでから行きます。

配膳台のよごれは、必ずふき取ります。(配膳が終わった時に台ふきをし、食器を下げる時にも確認をしましょう。)

給食の待ち方、給食中のマナーについて

せっけんで手を洗い、うがいをしたあと、自分の席で静かに本を読みながら待っておきます。本はそれまでに借りておきます。給食待ち時間に借りに行きません。教室から出る場合、先生に用事を言って出ます。

- 食べる量を増やしたり、減らしたりしたいときには、食べる前に先生に相談します。
- 姿勢よく、時間内に食べ終わることができるようにします。
(13:15にはコンテナに食器・食缶を返します。)
- 三角食べをこころがけ、よく噛んで食べます。
- 食べ終わった後は、「ごちそうさまでした」とあいさつをして、食器を片づけます。(※給食放送が終わるまでは、片付けません。)
- 飲み終えた牛乳パックは、手洗い場まで逆さにしないで運び、そこで洗って開きます。水をしっかりきって、決められた場所に、きれいに重ねます。
- 床を汚したり、濡らしたりしたら、必ず責任もってそうきんでふきます。
- 食事後は必ず歯みがきをします。
3分がめやすです。



■そうじについて

- 「と」「む」「す」「じ」「あ」を守って^{まも}そうじをします。

「と」 とりかかりよく

「む」 ^{むごん}無言で

「す」 すみずみまで

「じ」 ^{じかん}時間いっぱい、^{じかんない}時間内に

「あ」 ^{あとかたづ}後片付けまでしっかりと

- ^{まえ}前もって^{かくにん}確認した^{ないよう}内容の^{そうじ}掃除をします。
- ^{かたづ}片付けと^{はんせい}反省も^{じかん}ふくめて、^{そうじ}時間いっぱい掃除をします。



■ とうこう
登校について

- お休みするときや遅れるときには、^{はんちょう}班長、または同じ班の
^{ひと}人に、^{まえ}前もって伝えます。
- 学校には、お家の人から欠席や遅刻の連絡を
電話（テトル）でしてもらいます。



ある とうこう ひと
【歩いて登校する人は】

- ^{はんちょう}班長を先頭に、^{せんとう}登校班ごとに ^{れつ}1列または ^{れつ}2列に並んで歩いてきます。
- ^{こうつう}交通ルールを守って歩きます。道路への飛び出しは絶対に
しません。
- ^{とうこうちゆう}登校中にかたまって ^{はなし}話をしたり、決められた道以外を歩いたり
しません。
- ^{とうこうちゆう}登校中、出会った方には、^あ相手にはっきりと ^{あいて}聞こえる声で
^{あいさつ}あいさつをします。

※ ^み見まもり隊の方や、^{たい}止まってくださった ^{かた}運転手さんに
「^とありがとうございました。」とお礼を言います。

とうこう ひと
【バスで登校する人は】

- バスの時間^{じかん}に遅れないよう、^{おく}余裕をもって家を出ます。
- バスの集合場所^{しゅうごうばしょ}では、^{はんちょう}班長の言うことをしっかりと聞き、
^{かくとうこうはん}各登校班ごとに並んで ^{なら}静かに待ちます。

- バスの中では決められた座席に座り、さわがず、しずかにしておきます。
- 運転手さんに、大きな声であいさつやお礼を言います。



■ 下校について

- 一斉下校の時刻の5分前には、外に出て並んで待っておきます。
- 通学班で帰らない場合は、必ず班の人に伝えておきます。
- 班長は、メンバーが全員いることを確認してから出発します。（だれかがいないときは、先生に伝えて確認します。）
- 下校の時、他の班とくっつかないように、間をあけて歩きます。
- 決められた道（通学路）以外は通りません。

◎ 登下校で問題が起こったら、すぐ担当の先生に報告します。問題があれば、みんなで解決します。



（例）「けが」「危険なこと」「けんか」「問題行動」
 「心配なこと」「こまったこと」など

■ ^{あそ} ^い遊びに行くとき

- いったん家^{いえ}に帰^{かえ}ってから遊び^{あそ}に出^でかけます。
- 遊び^{あそ}に行く^いときは、家^{いえ}の人^{ひと}に行き先^{いきさき}を伝^{つた}えます。
- おうち^{おとな}の人^{ひと}の許可^{ひと きょか}なく、友^{とも}達^{だち}の家^{いえ}に上^あがりません。
- 大人^{おとな}の人^{ひと}がいない場^{ばあ}合^いは、家^{いえ}に上^あがって遊^{あそ}びません。
- 子^こどもだ^{みなみがた}けで校^{みぶ}区^{あそ}外^いに行^いきませ^{みぶ}ん。また、壬^{みぶ}生^{あそ}から南^い方^うへ、
南^う方^ちから壬^ち生^つへ遊^いびに行^いきたいとき^いには、お家^いの人^いに連^いれ
て行^いってもら^いいます。
- 保^ほ護^ご者^{しゃ}の許^{きょ}可^かなく、お金^{かね}を持^もって遊^{あそ}びに出^でません。
- 学^{がっこう}校^{どうろ}や道^{みせ}路^{まえ}、店^{みせ}の前^{まえ}など^かでジュー^かス^しやお菓^た子^たを食^くべませ^んん。
友^{とも}だ^{いえ}ち^かの家^かにお菓^も子^いやジュー^いス^いを持^もって行^いくこ^いともし^いませ^んん。
(水^{すい}分^{ぶん}補^ほ給^{きゅう}のた^めの^お茶^{ちや}や水^{みず}は可^か)
- お金^{かね}の貸^かし借^かりはしませ^んん。
- カード^かやゲ^きーム機^き、ゲ^もームソ^かフト^かなど、物^{もの}の貸^かし借^かりもし
ませ^んん。
- 人^{ひと}におご^かったり、お菓^か子^しや物^{もの}をあ^あげたりしませ^んん。
- 「あ^いげる」と言^いわれても、受^うけ取^とりませ^んん。
- 川^{かわ}や池^{いけ}に遊^{あそ}びに行^いくときは大^お人^{とな}の人^{ひと}と行^いきます。子^こどもだ^こけ
では行^いきませ^んん。
- 火^ひ遊^{あそ}びはしませ^んん。
- 帰^き宅^{たく}時^じ刻^{こく}ま^でには家^{いえ}に帰^{かえ}ってお^おきま^すす。
(春^{はる}休^{やす}み～9月^{がつ}31日^{にち})・・・午^ご後^ご 6:00ま^でに帰^{かえ}る。
(10月^{がつ}1日^{ついたち}～修^{しゅう}了^{りょう}式^{しき})・・・午^ご後^ご 5:00ま^でに帰^{かえ}る。

■^{じてんしゃ の かた}自転車の乗り方について

- ^{と だ}飛び出し、^{だ す}スピードの出し過ぎは^{ぜったい}絶対にしません。
- ^{じゅうじろ ティーじろ}十字路、T字路では^{いちじていし}一時停止して、^{あんぜん}安全を確認します。
- ^{じぶん いのち まも}自分の命を守るため、ヘルメットをかぶります。
- ^{うち ひと}お家の人とよく話し合^{はな あ}って決^きめた^{はんい}範囲を守^{まも}って^{じてんしゃ の}自転車に乗り^のます。

【^こ子どもだけで^{じてんしゃ の}自転車に^{はんい}乗れる^{めやす}範囲の目安】

【^{み ぶ ち い き}壬生地域】

1・2年生

^{いえ まわ}家の周り

3年生

^{じ ぶん す ち い き な い}自分の住む地域内

4年生以上

^{み ぶ ち い き な い}壬生地域内

【^{み な み が た ち い き}南方地域】

1・2年生

^{いえ まわ}家の周り

3年生以上

^{み な み が た ち い き な い}南方地域内

※ ^{ほごしゃ いっしょ ばあい}保護者と一緒の場合、^{ほごしゃ せきん あんぜん の}保護者の責任で安全に乗ってください。



■ きそくただ せいかつ
規則正しい生活

• 「3点固定」で規則正しい生活をします。

① はやね
早寝をします。

(ていがくねん は じ ちゅうがくねん じはん こうがくねん じ
低学年は9時、中学年は9時半、高学年は10時まで、
には寝ます。)

② はやお
早起きをします。(6時30分までには起きます)

③ かていがくしゅう はじ じこく き かていがくしゅう はじ
家庭学習を始める時刻を決めて、家庭学習を始めます。

(わたしが学習を始める時刻：〔 〕時〔 〕分)

• じかんわり えんぴつけす がくしゅう じゅんび ぜんじつ
時間割や鉛筆削りなど、学習の準備は前日
に済ませます。

• あさ かなら た
朝ごはんを必ず食べてきます。

• まいにちうんどう からだ
毎日運動をして体をきたえます。

• あさ ひる よる にち かい は
朝、昼、夜と1日3回歯みがきをします。

• かぞく いちいん すず てつだ
家族の一員として、進んでお手伝いをしま
す。

• テレビ、ゲーム、スマホなどの時間(動画)は、
1日2時間以内にします。(そのうちゲームは、1時間以内。)

• まいつきじゅうよっか ちよひ すず
毎月14日は、「千代の日」として、ノーマディアデーに進
んで取り組みます。



■^{れいわ ねん がついつち}令和5年4月1日から、「^{マスク}をつける・^{つけ}ないは、^{じぶん}自分で^き決めましよう。」^かということに^か変わりました。おうちの^{ひと}人と^{がっこう}学校で^{マスク}をするかどうか、^{はなし}しっかり話を^しましよう。

■^{がっこう}学校からみなさんに「^{いま}今は^{マスク}をつけましよう。」や、「^〇〇に行く（する）^{とき}時は^{マスク}をつけます。」という^{ばめん}場面があった^{とき}のために、^{マスク}はいつも^{つけ}なくても、^{ランドセル}の中や^{お道具箱}の中に^{なかく}準備しておきましよう。また、^{そのよう}な^{とき}時に^{じぶん}自分の^{マスク}がない^{ばあい}場合は、^{ほけんしつ}保健室に行って「^{マスク}を^{わす}れたので、^{ください}。」と^{じぶん}自分から^{はな}話して、^{もら}ってください。

※^{なんど なんど}何度も何度も^{マスク}を^{もら}いに^{いく}人は、^{もら}えなくなり^{ます}。

〇もし^{がっこう}学校に^き来てから、^{たいちょう}体調が^{わる}悪くなったと^{かん}感じる^{ときは}、^{せんせい}すぐに^{つた}先生に^{つた}伝えましよう。

